

主要品目産地概況と販売見通し（令和7年10月）

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）
はくさい	¥ 112	¥ 95	=	▲	▼	¥ 95 (¥ 97)
	産地概況		長野県産、JA川上物産、JA川上蔬菜の入荷。秋作の出荷ピークを迎える。今後の天候にもよるが、順調な入荷見込み。月末やや減少見込み。			
	総入荷量		620 t	前年比		101 %
キャベツ	¥ 83	¥ 85	=	△	=	¥ 100 (¥ 135)
	産地概況		群馬県産主力に長野県産の入荷。下旬より愛知県産の入荷を見込む。群馬県産は本年度当月にしっかりと作付けしているため、中旬までは潤沢に出回る予想。以降は減少傾向になり後続産地との切り替え時期で相場は強めに展開すると予想する。			
	総入荷量		400 t	前年比		113 %
ねぎ	¥ 500	¥ 450	▼	▼	▼	¥ 430 (¥ 430)
	産地概況		北海道産を主に中旬より石川県産の入荷。月の後半には数量が増える見込み。			
	総入荷量		89 t	前年比		100 %
ほうれん草	¥ 891	¥ 900	=	▼	▼	¥ 800 (¥ 785)
	産地概況		岐阜県産中心に県内産少量入荷。中旬以降は静岡産の入荷を予定している。岐阜県産週3回安定入荷を見込む。			
	総入荷量		30 t	前年比		103 %
小松菜	¥ 363	¥ 370	=	△	=	¥ 400 (¥ 415)
	産地概況		北関東産主力に県内産の入荷。北関東産は順調な入荷を見込む。県内産はやや不安定な入荷を予想する。			
	総入荷量		65 t	前年比		97 %
アスパラガス	¥ 1,300	¥ 1,100	=	=	▼	¥ 1,200 (¥ 1,200)
	産地概況		国産はほぼ終了。輸入のメキシコ産、オーストラリア産アスパラが主体の入荷。下旬にかけて数量が増える見込み。			
	総入荷量		6 t	前年比		100 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
ブロッコリー	¥ 567	¥ 570	=	▼	▼	¥ 550 (¥ 522)
	産地概況		北海道産を主に中旬より石川県産の入荷。石川県産の安定入荷は下旬頃を予想する。			
	総入荷量		155 t	前年比		100 %
レタス	¥ 130	¥ 110	▲	▲	=	¥ 200 (¥ 245)
	産地概況		茨城県産を主に中旬頃まで長野県産の入荷。安定した入荷予想から前年より数量は増加見込み。			
	総入荷量		120 t	前年比		128 %
生椎茸	¥ 1,000	¥ 1,000	▲	=	▲	¥ 1,040 (¥ 998)
	産地概況		石川共販を中心に、徳島、富山、兵庫県産の入荷。石川は不安定な入荷で、徳島、富山、兵庫は、安定出荷の見込み。引き合い強くなり、少しずつ上げの見込み。			
	総入荷量		25 t	前年比		98 %
しめじ	¥ 539	¥ 540	=	=	▼	¥ 570 (¥ 570)
	産地概況		JA全農長野物を中心に企業物（ホクト・ミスズ・雪国）の入荷。出荷は、各産地フル生産に入る。ただし、JA物は、生育にバラ付きあり。価格は天候・野菜の動向にも左右されるが前月並みで推移すると思われる。			
	総入荷量		20 t	前年比		100 %
えのき	¥ 306	¥ 300	▼	=	▼	¥ 290 (¥ 317)
	産地概況		長野県産中心の入荷。出荷は、フル生産に入り順調な入荷が見込まれる。価格は天候・野菜の動向にも左右されるが、前月並みで推移すると思われる。			
	総入荷量		47 t	前年比		100 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価(前年)
大葉	¥ 3,334	¥ 3,300	=	▲	=	¥ 3,200 (¥ 3,150)
	産地概況		愛知県豊橋温室から入荷。夏場の高温、秋口の降雨により出方は少なめに推移する。相場は中旬の連休絡みの週に引き合いが強まり、価格の上昇が予想される。			
	総入荷量		4.7 t	前年比		100 %
春菊	¥ 1,922	¥ 1,988	=	▼	=	¥ 1,500 (¥ 1,393)
	産地概況		岐阜産飛騨農協からの入荷。週3回の入荷見込み。中下旬から群馬県館林農協からの入荷、昨年並みの入荷見込む。石川産は個人出荷の見込みであるが、高齢化により減少傾向にある。			
	総入荷量		3 t	前年比		100 %
南瓜	¥ 230	¥ 235	=	=	▲	¥ 235 (¥ 239)
	産地概況		北海道産主力の入荷。名寄南瓜は週2回の入荷予定。輸入南瓜は下旬頃の入荷の見込み。価格は昨年並みと予想する。			
	総入荷量		60 t	前年比		103 %
胡瓜	¥ 454	¥ 470	▲	=	▼	¥ 480 (¥ 489)
	産地概況		群馬、石川県産主力に上、中旬まで福島県産、中旬以降高知県産の入荷予定。産地の切り替わりによる端境から、不安定な入荷が予想される。			
	総入荷量		160 t	前年比		101 %
茄子	¥ 429	¥ 430	=	▼	=	¥ 410 (¥ 423)
	産地概況		茄子は高知県産主力に石川県産の入荷。中旬にかけて出荷ピークを迎える予定。長茄子は、熊本県産・茨城県産の入荷。熊本県産が出荷スタートだが不安定な入荷の野見込み。			
	総入荷量		t	前年比		%
トマト	¥ 512	¥ 540	▲	△	=	¥ 670 (¥ 102)
	産地概況		石川県産JA金沢市・松任・小松市・完熟トマト出荷組合、岐阜県産JA飛騨に加え愛知県産の入荷。今後の天候次第ではあるが前年並みの入荷及び価格の推移を見込む。			
	総入荷量		180 t	前年比		98 %
ミニトマト	¥ 1,206	¥ 1,250	▲	▼	▼	¥ 1,100 (¥ 1,145)
	産地概況		愛知県産主力に上、中旬まで北海道産の入荷を見込む。中下旬にかけて愛知県産や九州産地の入荷増量が見込まれることから、緩やかに相場は落ち着いていく見込み。			
	総入荷量		55 t	前年比		95 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)

ピーマン	¥ 627	¥ 630	▲	▲	=	¥ 650 (¥ 697)
	産地概況		夏秋の長野、北海道産の入荷が減少に向かい、秋冬作の高知、鹿児島県産へと切り替わり、秋冬作は徐々に増加に向かう。猛暑の影響で定植遅れや成育遅れが見られ、中旬までは不安定な入荷となる見通し。価格は前年をやや下回るが平年と比べて高めで推移するとみられる。			
	総入荷量		36 t	前年比		104 %
豆類	¥ 1,366	¥ 1,400	▲	▲	=	¥ 1,500 (¥ 1,491)
	産地概況		いんげんは夏秋作の長野、山梨のいんげん、中旬から鹿児島、高知県産に切り替わる見込み。きぬさやは北海道産が徐々に減少、下旬から愛知県産の入荷予定。枝豆は山形県産が上旬で終了予定。全体を通して端境期に入り、不安定な入荷となり、価格は高めで推移する見通し。			
	総入荷量		5 t	前年比		100 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
大根	¥ 148	¥ 150	=	▼	▼	¥ 120 (¥ 116)
	産地概況		石川、岐阜、北海道産の入荷。岐阜、北海道は上旬で終了予定。石川産は平年に比べやや遅れており、2週目からの予定。			
	総入荷量		650 t	前年比		109 %
かぶ	¥ 210	¥ 230	▲	=	▲	¥ 240 (¥ 208)
	産地概況		青森産主力に、月末より石川産の入荷予定。			
	総入荷量		33 t	前年比		87 %
人参	¥ 157	¥ 140	▼	▲	▲	¥ 140 (¥ 123)
	産地概況		北海道産の入荷。順調な入荷予定。			
	総入荷量		260 t	前年比		98 %
蓮根	¥ 507	¥ 495	▲	▼	=	¥ 510 (¥ 507)
	産地概況		石川産共販、個人物中心に愛知産の入荷。各産地、生育状況も良く順調な入荷が見込まれる。			
	総入荷量		38 t	前年比		102 %
甘藷	¥ 298	¥ 294	=	=	▼	¥ 290 (¥ 291)
	産地概況		石川産中心に茨城・千葉産の入荷。各産地、掘り込み蔵入れ作業から出荷数量の減少が見込まれる。			
	総入荷量		190 t	前年比		102 %
馬鈴薯	¥ 155	¥ 145	▼	=	=	¥ 140 (¥ 104)
	産地概況		北海道産の入荷。前年度は蔵入れを行わない一般産地の産品が急激に出回り下げた経緯があるが、今年度は北海道産品の小玉・不作傾向から安定した入荷を見込んでいる。単価は安価であった前年と比べると大幅高を見込んでいる。			
	総入荷量		350 t	前年比		100 %
長芋	¥ 469	¥ 470	=	=	▼	¥ 450 (¥ 374)
	産地概況		北海道並びに青森産の入荷。両産地共に春掘品の最終盤に入り出回り量は少ない予想。北海道産は中旬、青森産は初旬で春掘品出荷終了の見込み。7年産新物の出荷は下旬から来月初旬と見られる。			
	総入荷量		45 t	前年比		108 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)

玉葱	¥ 135	¥ 145	▲	▲	=	¥ 160 (¥ 99)
	産地概況		北海道各産地よりの入荷となるが、全道的に生育期の酷暑により過去に例の無い小玉で反収は平年の6割程度。出荷量増加は見込めず出回り量は極めて少なく階級もL・Mが中心となる。加えて全国的な引合の強まりも予想され高単価での推移を見込む。			
	総入荷量		450 t	前年比		66 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
みかん	¥ —	¥ 480	=	=	=	¥ 440 (¥ 440)
	産地概況		福岡県産の入荷。少なかった前年より多めの入荷見込み。			
	総入荷量		116 t	前年比		120 %
柿	¥ 554	¥ 500	=	▼	=	¥ 350 (¥ 319)
	産地概況		和歌山県産の入荷。刀根早生柿が10/16までの入荷予定。16以降からは平核無柿、早生富有柿の入荷。			
	総入荷量		160 t	前年比		117 %
梨	¥ 475	¥ 430	▼	=	=	¥ 500 (¥ 560)
	産地概況		金沢梨あきづきは10/10までの予定。新高の10/10に一度入荷。			
	総入荷量		25 t	前年比		90 %
メロン	¥ 709	¥ 710	=	=	=	¥ 710 (¥ 808)
	産地概況		静岡産少なかった前年より多めの入荷。石川産上旬で終了。北海道産赤肉メロン前年より少なめ、高知産アールスメロン10月下旬～予定だが高温の影響受けやや遅れ気味。			
	総入荷量		25 t	前年比		96 %
りんご	¥ 399	¥ 394	=	=	=	¥ 390 (¥ 316)
	産地概況		上旬は青森県産サン津軽、きおう、長野県産秋映の入荷。中下旬にかけて青森県産早生ふじ、トキの入荷。			
	総入荷量		285 t	前年比		112 %
ぶどう	¥ 1,605	¥ 1,510	▼	▼	▼	¥ 1,530 (¥ 1,500)
	産地概況		山梨県産は数量が減少していくのに対し、長野県産は増加の見込み。			
	総入荷量		45 t	前年比		101 %
いちじく	¥ 960	¥ 995	△	=	=	¥ 1,000 (¥ 979)
	産地概況		夏からの高温、豪雨などの天候不良により産地数量が大幅減。石川県産は来月まで出荷予定だが、愛知県産は10月いっぱい終了予定、もしくは早々に終了の可能性あり。			
	総入荷量		15 t	前年比		108 %

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価 (前年)
バナナ	¥ 218	¥ 220	=	=	=	¥ 220 (¥ 244)
	産地概況		フィリピン産は天候の影響でハイランド系の生産にやや影響が出るも、概ね安定した入荷を見込む。南米産は順調な入荷。			
	総入荷量		1,200 t	前年比		94.0 %
オレンジ	¥ 318	¥ 320	=	=	=	¥ 320 (¥ 307)
	産地概況		オーストラリア産の入荷はやや不安定ながら、中心サイズは在庫をしっかりと確保する。高糖度も併売、価格は保合で推移。10/末よりバレンシアの入荷が始まり、ネーブルから切り替え。			
	総入荷量		10 t	前年比		93.0 %
グレープフルーツ	¥ 182	¥ 180	▲	=	=	¥ 200 (¥ 233)
	産地概況		南アフリカ産は終了し、オーストラリア産のルビーレッドの販売となる。ただ慢性的に遅延が発生し入荷は不安定、その為在庫確保に注視する。価格は保合を見込む。			
	総入荷量		10 t	前年比		100.0 %
レモン	¥ 484	¥ 480	=	=	=	¥ 480 (¥ 427)
	産地概況		チリ産の入荷は10/中で終了。それ以降は在庫販売で、アメリカ産の入荷まで継続。価格は保合を見込む。			
	総入荷量		10 t	前年比		65.0 %
パイナップル	¥ 195	¥ 205	=	=	=	¥ 200 (¥ 196)
	産地概況		フィリピン産の入荷。フィリピンは雨期に移行。入荷はやや上旬まで少ないが徐々に回復の見込み。			
	総入荷量		47 t	前年比		100.0 %
キウイ	¥ 732	¥ 728	=	=	=	¥ 730 (¥ 617)
	産地概況		ニュージーランド産は順調な入荷。ゴールドキウイは中心サイズはじめ潤沢に在庫あり、11/末まで販売予定。グリーンキウイは小玉が不足し中玉の販売となる、年内まで販売予定。			
	総入荷量		100 t	前年比		100.0 %